

## 香川大学防災士養成講座で「災害と保険」について講演

～近年の自然災害に備える保険とハザードマップの活用を説明～

日本損害保険協会四国支部委員会(委員長:岡田 淳・損害保険ジャパン株式会社高松支店長)では、日本損害保険協会が掲げる第9次中期基本計画の柱のひとつである「災害に強い社会の実現」を目指し、12月3日に香川県高松市で開催された香川大学公開講座「防災士養成講座」(※)で「災害と保険」に関する講義を行いました。

本講義では第一部として、日本の国土の特徴や近年の自然災害や地震の状況を話しながら、自然災害の備えには公助・共助・自助があるが、自然災害の被害を受けた場合、早期に生活再建ができるよう自助である経済的な備えが重要であることを説明しました。第二部として、自然災害に備える保険には火災保険、地震保険、自動車保険、傷害保険があることを説明し、火災保険による水災担保の必要性や、地震を原因とする火災は火災保険では補償されないこと等、注意点を交えながら保険の重要性を説明しました。その他、当協会作成の「ハザードマップ活用チラシ」や「ハザードマップと一緒に読む本」を用いてハザードマップに係る基本知識を紹介したうえで、ハザードマップの活用を呼びかけました。

受講者からは、地震を原因とする火災によるトラブル事例、火災保険における相手への賠償問題、明記物件の注意点などの質問や、「自宅に戻って水災が担保しているか確認したい」といった声がありました。

引き続き、当支部では香川大学や香川県等と連携して地域の防災力向上に係る取組みを推進していきます。

(※) 令和4年度香川大学公開講座「防災士養成講座」の概要

講座は5日間の日程で、「地域の防災活動」「地震・津波のしくみと被害」「風水害・土砂災害と対策」「行政の災害対応」等、計23テーマを履修すると防災士取得試験の受験資格を得ることができます。講師は、香川大学創造工学部危機管理機構、香川大学医学部、香川県危機管理総局危機管理課、高松市総務局危機管理課、香川県社会福祉協議会、香川県防災士会等が担当します。

■日 時: 2022年12月3日(土) 15時20分～16時20分

■場 所: 香川大学創造工学部3301講義室(高松市林町2217-20)

■講 師: 日本損害保険協会四国支部事務局長 及川 清志



「災害と保険」について説明する及川事務局長



受講生の様子